

小学校外国語科モデルプラン

第5学年

What do you have on Monday?

学校生活・教科・職業

We Can! 1 Unit 3



関連する領域別の学習到達目標

【読むこと】	活字体で書かれた文字を識別し、その読み方（文字の名称）を発音することができる。
【書くこと】	音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができる。



単元ゴール

コミュニケーションの目的・場面・状況	友達の将来の夢（好きなこと）やそのために考えたオリジナル時間割を紹介し合い、感想を伝え合う。
目指す発話例	A: What do you want to be? B: I want to be a ~. A: Why? B: I like ~. A: What day is it? B: It's ~. A: What do you have on ~? B: I have ~ on ~. I like ~. I want to study ~. A: What's this? B: It's ~(explain their original subject).



言語材料（下線は新出表現・語彙）

主な表現	主な語彙
Do you have <u>PE</u> on Monday? Yes, I do. / No, I don't. <u>What do you have on Monday?</u> <u>I have (English), ~, ~, ~ and ~.</u> I study ~. <u>I want to study ~.</u> <u>What do you want to be?</u> <u>I want to be a ~.</u> Do you like ~? Yes, I do. / No, I don't. What subject do you like? I like ~. Why? It's (fun / exciting). What day is it? It's ~. What's this? It's ~.	教科 (<u>Japanese, math, social studies, home economics, calligraphy, moral education, P.E., English, music, arts and crafts, science</u>) 職業 (<u>baseball player, doctor, fire fighter, florist, police officer, vet</u>) その他児童がなりたい職業に関する語彙 <u>subject, study, on, cleaning time, recess, lunch time</u> 曜日 (Monday, Tuesday, Wednesday, Thursday, Friday, Saturday, Sunday)



指導計画

第1時	<p>目標：曜日や教科について尋ねたり答えたりする表現を知る。</p> <p>準備物：デジタル教材, 指導者の時間割, 児童用テキスト, 教師用カード (曜日・教科), 振り返りカード</p> <p>※本時の目標に向けて指導は行うが, 評価の記録は次時に合わせて行う。</p>		
時間	児童の活動	指導者の活動と使用英語例 ◎評価<方法>	準備物
1分	【 】 = We Can! に誌面化されている活動		
1分	・挨拶をする。	・全体に挨拶し, 個別に数名の児童にも挨拶をする。	
3分 	<p>[Jingle] Animals Jingle</p> <p>・アルファベット順に, それぞれの文字で始まる単語やその音に注意しながら全員で分かる部分だけ言う。</p>	<p>・まず, 児童が知っているアルファベットの読み方を尋ねる。Animals Jingleを行うことを告げ, どのようなものが聞こえるか, 聞き取るよう促す。</p> <p>・音に注意しながら分かる部分だけでよいので一緒に言うように促す。</p>	デジタル教材
10分 	<p>○Small Talk : 先生のオリジナル時間割</p> <p>・指導者の話を, 反応を示したり, 質問について考えたり答えたりしながら聞く。</p>	<p>・児童にゴールイメージをもたせるため, 指導者の将来の夢を紹介し, どんな学習が職業につながるか想像させる。</p>	指導者の時間割
	<p>T: Look. (小学5年生の頃の写真を見せる) This is me. I was 11 years old. My dream was a pianist. (絵カードを貼る) Now I'm a teacher. In the future, (将来の年齢を黒板に書く) I want to be a ... What do I want to be? Please guess. Look at this schedule. (指導者の時間割を見せる) I have science, ~, ~, ~ and ~. (指導者がなりたい職業を教科を基に考えさせる。) I want to be a florist. (絵カードを見せる) I like flowers. I want to study gardening.</p>		
8分 	<p>[Let's Watch and Think 1] (p.18-19)</p> <p>・映像を見て, 世界の学校について分かった事を誌面に記入する。</p> <p>・聞き取れた言葉や分かった事を発表する。</p>	<p>・児童と一緒に聞き取れたことについて確認し, 世界の同世代の学校生活は日本と似たところも違うところもあることを確認する。映像を視聴しながら, ジェスチャーを交えるなど, 児童が内容を推測しやすいようにする。</p> <p>・デジタル教材に出てくる学校は一つの例であり, その国の全ての学校がそうではないことに留意させる。</p>	デジタル教材 児童用テキスト
5分 	<p>[Let's Sing] Sunday, Monday, Tuesday (p.20)</p> <p>・教室の時間割を見て, 何曜日にどんな教科があるのか確認してから歌う。</p> <p>・歌い終わったら, 指導者の質問に答える。</p>	<p>・時間割を見ながら, 曜日や教科の英語での言い方を示した後, Sunday, Monday, Tuesdayの歌を言えそうところから一緒に歌うよう促す。</p> <p>・歌の後で, 曜日や教科について児童とやり取りをしながら曜日や教科名を何度も聞かせ慣れ親しませる。</p>	デジタル教材 教師用カード (曜日・教科)
	<p>T: Today is Monday. We have math, Japanese, science, music, social studies and P.E. Do you like math? S1, do you like math? S1: Yes, I do. T: You like math. Good. S2, How about you? Do you like math? S2: No, I don't. T: Oh, you don't like math. How about Japanese? ...</p>		
7分	<p>○Card Relay</p> <p>・教科名や曜日について, 列ごとにリレー形式で言う。</p>	<p>・黒板に掲示している教科カードを使って行う。</p>	教師用カード (曜日・教科)
7分 	<p>[Let's Listen] (p.20)</p> <p>・音声を聞いて, それがどの曜日かを考えて記入する。</p>	<p>・1度目は音声を途中で区切らず最後まで聞かせる。聞き取れた内容を確認した後, 聞き取りにくい曜日は数回音声を流したり, 途中で区切ったりする。</p> <p>・答え合わせの際には, 一緒に教科名や曜日を言うようにし, 言い方に慣れさせる。また, その教科が好きかどうかを児童に尋ねてやり取りにつなげる。</p>	デジタル教材 児童用テキスト
3分	<p>・本時の活動を振り返り, 振り返りカードに記入する。</p>	<p>・本時のねらいに照らして児童を称賛する。</p>	振り返りカード
1分	・挨拶をする。	・挨拶をする。	


第2時	<p>目 標：曜日や教科について尋ねたり答えたりできる。</p> <p>準備物：デジタル教材，教師用カード（曜日・教科），児童用カード（曜日・教科），ビンゴシート，児童用テキスト，振り返りカード</p>
-----	---

時間	児童の活動 【 】 = We Can! に誌面化されている活動	指導者の活動と使用英語例 ◎評価<方法>	準備物
1分	・挨拶をする。	・全体に挨拶し，個別に数名の児童にも挨拶をする。	
4分 	<p>【Let's Sing】 Sunday, Monday, Tuesday (p.20)</p> <p>・曜日の歌を歌う。</p>	・曜日の言い方を復習することを伝え，児童と一緒に歌う。児童の様子を見てアカペラでゆっくりとしたリズムにするなど，歌い方を工夫する。	デジタル教材 教師用カード (曜日)
6分 	<p>【Let's Chant】 What do you have on Monday? (p.22)</p> <p>・チャンツを言う。</p>	・まずチャンツを聞かせ，どのような音が聞こえたか発表させる。聞こえた語を児童と確認した後，一緒にチャンツを言う。	デジタル教材
10分	<p>○Keyword Game</p> <p>・ペアで活動する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><Keyword Game の進め方></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアで二人の机の間に消しゴムを一つ置く。 ・キーワードを決める。(例) science ・指導者に続いて言う。 <p>T: I have math. S: I have math.</p> <p>T: I have science. S: (キーワードに気付いて早く消しゴムを取った方が勝ち)</p> </div>	・前時に学習した教科名を復習した後，これらの語を使って，キーワードゲームをすることを伝え，進め方の例を示す。	教師用カード (教科)
10分	<p>○Bingo Game</p> <p>・各自で児童用カード（曜日・教科）14枚を切り離し，そのうち9枚を選んでビンゴシートに並べる。</p>	<p>・曜日・教科のカードから，ビンゴシートに9枚を並べるように言う。</p> <p>・Do you have ~?で尋ね，そのカードかシートにあれば Yes, I do.と言って，そのカードを裏返す。なければ No, I don't.と答えるよう言う。縦横斜めにカードが裏返ればビンゴ。</p> <p>・慣れてきたら，代表児童に尋ねさせる。Do you have ~?の表現を何度も聞いたり言ったりして慣れ親しませる。</p>	教師用・児童用カード(曜日・教科) ビンゴシート
10分 	<p>【Let's Play】 (p.20)</p> <p>・ペアで組み，一方があらかじめ一週間の時間割の中から好きな曜日を一つ選んでおき，もう一方が Do you have ~ on ~?と尋ね，どの時間割を選んだかを当てる。</p>	<p>・まず，指導者と代表児童，指導者と全児童でデモンストレーションをして進め方を理解させる。</p> <p>・代表児童に好きな曜日を心の中で決めさせる。その曜日を予想し，時間割を見てその曜日にある科目を，Do you have ~ on ~?と尋ねる。</p> <p>・指導者が好きな曜日を心の中で決める。児童に質問をさせる。</p> <p>・単に曜日を答えるだけでなく，Do you have ~? I have ~ on ~.の表現を繰り返し聞いたり言ったりして慣れ親しませることがねらいである。</p> <p>◎曜日や教科について尋ねたり答えたりしている。<行動観察・振り返りカード点検></p>	デジタル教材 児童用テキスト
3分	・本時の活動を振り返り，振り返りカードに記入する。	・本時のねらいに照らして児童を称賛する。	振り返りカード
1分	・挨拶をする。	・挨拶をする。	


第3時	<p>目標：何曜日に何の教科があるのかを尋ねたり答えたりする。</p> <p>準備物：教師用カード（曜日・教科）、児童用カード（曜日・教科）、デジタル教材、児童用テキスト、振り返りカード</p>
-----	---

時間	児童の活動 【 】 = We Can! に誌面化されている活動	指導者の活動と使用英語例 ◎評価<方法>	準備物
1分	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体に挨拶し、個別に数名の児童にも挨拶をする。 	
9分 	<p>【Let's Watch and Think 2】 (p.21)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映像を見て、世界の子供達がどんな時間割で学んでいるか、分かったことを誌面に記入する。 ・指導者の後に続けて分かったことを言い、内容を確認する。 ・指導者の質問に答える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・視聴前に児童に予想させ、確認したいという気持ちにさせてから視聴する。 ・1度目は一時停止せず、まとめて視聴し、ある程度まとまりのある話から、その内容の概要を捉えられるようにする。 ・1度聞かせた後、聞き取れた単語を発表させ、2回目にその語をヒントにさらに内容を理解させるなど、児童の実態や不安感をもつ児童に配慮しながら行う。 ・単に答え合わせとならないよう、聞き取った科目や曜日を題材に児童とやり取りをし、次の活動につなげる。 	デジタル教材 児童用テキスト
15分	<p>○Rhythm Relay</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童1人に一枚ずつ教科カードを配付し、列ごとに What do you have on ~? I have ~, ~ and ~. をリレーしながらやり取りする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・語句や表現に慣れ親しませ、Small Talk につなげる。 ・言葉を回していくだけでなく、コミュニケーションのポイントも意識させる。 	教師用カード (曜日・教科)
10分	<p>○Go Fish Game</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Go Fish Game を行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><Go Fish Game の進め方></p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループで4セット教科と1セット曜日のカードを準備する。 ・教科カードをシャッフルし、裏向けにして1人5枚ずつ配る。残りの教科カードは裏向けの山、曜日カードは表向けの山にして机の中央に置く。曜日カードは1周する度に次の曜日にかえる。手持ちで揃っているカードは横に出す。 ・残りの手持ちの教科カードを早く2枚組にし、全てなくなった人が勝ち。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・数名の児童とデモンストレーションをして、進め方を理解させる。 	児童用カード (曜日・教科)
5分 	<p>○Small Talk</p> <p>S1: What do you have on ~? S2: I have ~, ~, ~ and ~ (on ~). S1: What subject do you like? S2: I like ~ (very much). I want to study ~.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1人が1週間の時間割の中から好きな曜日を一つ決め、相手が Do you have ~ on ~? と尋ね、その時間割について答える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・デモンストレーションをして進め方を理解させる。 ・単に曜日を答えるだけでなく、Do you have ~? I have ~ on ~. の表現を繰り返し聞いたり言ったりして慣れ親しませる。 ・情報を付け加えたり、さらに聞きたいことを質問したりして会話を継続している児童を評価する。 ・児童が日本語で話している内容が既習表現で言えそうな場合、全体で取り上げて考えさせる。 <p>◎何曜日に何の教科があるのかを尋ねたり答えたりしている。<行動観察、振り返りカード分析></p>	
4分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 	振り返りカード
1分	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする。 	



第4時	<p>目標：職業の言い方や就きたい職業を尋ね合う表現を知る。</p> <p>準備物：デジタル教材，教師用カード（教科・曜日・職業），振り返りカード</p>
-----	---

時間	児童の活動 【 】 = We Can! に誌面化されている活動	指導者の活動と使用英語例 ◎評価<方法>	準備物
3分	・挨拶をする。	・全体に挨拶し，個別に数名の児童にも挨拶をする。	
5分 	<p>[Jingle] Animals Jingle</p> <p>・音声を聞きながら，音に注意し，文字の読み方（名称）をリズムに合わせて言う。</p>	・Animals Jingle を，音声に合わせて児童と一緒に言う。	デジタル教材
10分	<p>○Rhythm Relay</p> <p>・児童1人に一枚ずつ教科カードを配付し，列ごとにWhat do you have on ~? I have ~, ~ and ~.をリレーしながらやり取りする。</p>	<p>・語句や表現に慣れ親しませ，Small Talkにつなげる。</p> <p>・言葉を回してだけでなく，コミュニケーションのポイントも意識させる。</p>	教師用カード (曜日・教科)
20分 	<p>○Small Talk</p> <p>S1: What do you want to be? S2: I want to be a ~. / None. S1: Oh, nice (dream). / I see. S2: How about you? What do you want to be? S1: I want to be a ~. S2: Good luck!</p>	<p>・デモンストレーションをして進め方を理解させる。</p> <p>・単に職業を答えるだけでなく，就きたい職業についてやり取りする表現を繰り返し聞いたり言ったりして慣れ親しませる。</p> <p>・情報を付け加えたりさらに聞きたいことを質問したりして会話を継続している児童を評価する。</p> <p>・児童が日本語で話している内容が既習表現で言えそうな場合，全体で取り上げて考えさせる。</p> <p>◎職業の言い方や就きたい職業を尋ね合う表現を理解している。<行動観察，振り返りカード分析></p>	教師用カード (職業)
5分	・本時の活動を振り返り，振り返りカードに記入する。	・本時のねらいに照らして児童を称賛する。	振り返りカード
2分	・挨拶をする。	・挨拶をする。	


第5時	<p>目標：就きたい職業について質問したり、答えたりする表現に慣れ親しむ。</p> <p>準備物：ワークシート①（What subject? Quiz）、デジタル教材、児童用テキスト、教師用カード（職業）、ワークシート②（小文字）、振り返りカード</p>
-----	---

時間	児童の活動 【 】 = We Can! に誌面化されている活動	指導者の活動と使用英語例 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。	・全体に挨拶し、個別に数名の児童にも挨拶をする。	
5分   	<p>○Let's Read and Write (自作)</p> <p>・What subject? Quiz をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>聞< I cook sandwiches. I like cooking.</p> <p>①math ②science ③home economics</p> <p>ワークシートに○を付け、書き写す。</p> </div>	<p>・3 択の教科クイズを通して、「聞く→読む→書く」活動を仕組み、意欲をもたせ、教科名を書くことに慣れ親しませる。</p> <p>・アルファベットを書く時には、4 線を意識して書かせる。</p>	ワークシート①
8分 	<p>[Let's Watch and Think 3] (p.23)</p> <p>・映像を見て、登場人物と将来の夢、夢の時間割を線で結ぶ。</p> <p>T: What's this? S: Vet. T: Yes. This is a vet. Do you want to be a vet? Yes or No? S: Yes. T: Nice dream.</p>	<p>・音声を聞く前に、絵や教科について教師と児童でやり取りをし、本時で扱う表現に慣れ親しませる。</p> <p>・「want to be a ~」の表現を繰り返し聞かせる。</p>	デジタル教材 児童用テキスト
5分	<p>○Key Phrase Game</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><説明例></p> <p>No1. Make a pair. No2. Put an eraser on the desk. No3. Repeat after me. "I want to be~" No4. If I say the key phrase, please take the eraser.</p> </div>	<p>・活動の前に、職業についてのカードを提示し、表現を確認しておく。</p> <p>・デモンストレーションを行いながら説明し、ルールを理解させる。</p>	教師用カード (職業)
17分 	<p>[Activity 1] p.22</p> <p>A: What do you want to be? B: I don't know yet. A: What do you like to do? B: I like to ~. A: Oh, good! / I see. B: How about you? What do you want to be? A: I want to be a ~. B: Why? A: (Because) I like ~. / I want to be ~. B: That's good. Good luck!</p>	<p>・教師と ALT のデモンストレーションを見せ、どのような会話をしていくか見通しを立てさせる。</p> <p>・デモンストレーションが終わった後に、数名の児童にも「What do you want to be?」と質問し、モデルを見せる。</p> <p>・実際のやり取りの前に、ALT と一緒に表現の練習をし、自信をもって伝えられるようにする。</p> <p>・児童が伝えたいけど伝えられない表現を取り上げ、全体で共有する。</p> <p>・机間巡視を行い、表情やアイコンタクト、ジェスチャーなどでモデルとなる児童を紹介する。</p>	
5分 	○ Sounds and Letters	・4 線を意識して、小文字を書く練習をさせる。	ワークシート②
2分	・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。	・本時のねらい・振り返りの視点を確認して記入させ、活動に対して肯定的評価をする。	振り返りカード
1分	・挨拶をする。	・挨拶をする。	

第6時	<p>目 標：伝え合ったことを基にして、オリジナル時間割に職業や曜日を書き写す。 自分に必要な教科やオリジナル教科を考える。</p> <p>準備物：教師用カード（職業）、ワークシート、ワードリスト、教科カード、振り返りカード</p>
-----	--

時間	児童の活動 【 】 = We Can! に誌面化されている活動	指導者の活動と使用英語例 ◎評価<方法>	準備物
2分	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする。 ・めあてを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体に挨拶し、個別に数名の児童にも挨拶をする。 ・めあてを確認する。 	
10分	<p>○Interview Relay</p> <p>T: What do you want to be? S: I want to be a vet. T: You want to be a vet. What animals do you like? S: I like dogs. T: I see.</p> <p><活動形態例></p> <ul style="list-style-type: none"> ●児童 ★T1 ▲ALT 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時にやり取りをした What do you want to be?の表現を想起させるために、教師とALTで児童一人一人の机を回り、順番に質問する。 ・次の Activity2 で児童がこの表現を使えるように、聞かせたり言わせたりして慣れ親しませる。 ・答えられる児童には、将来なりたいものだけではなく Do you like~?や Why do you want to be~?などの質問をして、会話を広げる。 ・アイコンタクトやジェスチャーをするなどの相手意識がある児童を取り上げて評価する。 	教師用カード (職業)
20分	<p>○Activity</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なりたい職業とオリジナルスケジュールの曜日を質問し合う。 <p>A: What do you want to be? B: I want to be a ~. A: Oh, ~. Nice! So, original schedule, what day is it? B: It's ~. A: Why? B: (難しければ日本語でも良い) </p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教師とALTのデモンストレーションを見せ、どのような会話をしていくかの見通しを立てさせる。 ・デモンストレーションが終わった後に、数名の児童にも質問し、モデルを見せる。 ・この後の活動で書く職業名と曜日を繰り返し使わせ、音声で慣れ親しませる。 ・理由を話す時には、英語で表現することが難しければ、日本語で伝えても良いことにする。 	
	 <ul style="list-style-type: none"> ・発表の時に使うワークシートの職業と曜日を書き写す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・4線を意識して書かせる。 ・児童が書きたい単語を書き写すことができるように、ワードリストを用意する。 ・書きたい単語がワードリストにない場合は、指導者がその場で書くなどして見本を提示する。 	ワークシート ワードリスト
	 <ul style="list-style-type: none"> ・書き写したものを友達と交換し、4線に合わせて正しく書けているか等をチェックし合う。 	<p>T: Let's check each other's worksheet. For example, 4 lines and perfect spelling.</p>	
8分	<p>○Think about the order of subject cards</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の夢を叶えるための時間割を作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科カードをワークシートに貼り、自分のオリジナルの時間割を作らせる。 ・1教科はオリジナルの教科を考えてもよいことを伝え、それぞれの夢を叶えるために必要な教科を考えさせる。 	ワークシート 教科カード
5分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入し、発表する。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらい・振り返りの視点を確認して記入させ、児童の活動に対して肯定的評価をする。 ・挨拶をする。 	振り返りカード

第7時	<p>目 標：将来の夢やオリジナル時間割についての自分の考えなどを伝え合おうとする。 オリジナル時間割に必要な教科名を書き写すことができる。</p> <p>準備物：教師用カード（職業・教科）、オリジナル時間割、教科名見本シート、振り返りカード</p>
-----	---

時間	児童の活動 【 】 = We Can! に誌面化されている活動	指導者の活動と使用英語例 ◎評価<方法>	準備物
4分	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする。 ・めあてを確認する。 ・What subject? Quiz をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体に挨拶し、個別に数名の児童にも挨拶をする。 ・「聞く→読む→書く」クイズをする。 	
10分 	<p>○Small Talk</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日の時間割や曜日、好きな教科、将来の夢についてのやり取りを行う。 <p>① T 1 → T 2 ② T 1 → S 1, S 2… ③ S - S</p> <p>What do you want to be? Do you like ~? What subject do you like?</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・友達に尋ねたい項目を選ばせることで、やり取りの意欲向上につなげる。 ・情報を付け加えたり、さらに聞きたいことを質問して会話を継続したりしている児童を評価する。 ・困っている児童の表現の仕方を全体で考えさせる。(机間指導で見取る) 	教師用カード (職業・教科)
17分 	<p>○Let's Talk</p> <ul style="list-style-type: none"> ・班でオリジナル時間割を伝え合う。 <p>A: What do you want to be? B: I want to be a ~. A: Oh, ~. Nice! (Why?) B: I like ~. (I want to ~.) A: I see. What day is it? B: It's ~. A: I see. What do you have on ~? B: I have ~, ~, ~, ~ and ~.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・班で、オリジナル時間割について伝え合う。夢や曜日・時間割以外に、聞きたいと思ったことをお互いに質問し合い、やり取りを深めさせる。 ・良い点、困っていることについて中間評価を行う。 ・やり取りをして、さらに分かったことを発表させる。 ◎相手を意識して、就きたい職業やオリジナル時間割を尋ねたり答えたりし、伝え合おうとしている。<行動観察・振り返りカード点検> 	オリジナル時間割
8分 	<p>○Let's Write</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科名をオリジナル時間割シートに書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・例を参考にして、時間割に必要な教科を書かせる。 ・書くスピードの個人差を考慮し、他教科を書き写せるスペースを準備しておく。 ◎例を参考にして、オリジナル時間割に必要なだと考えた教科名を書き写している。<行動観察・オリジナル時間割> 	オリジナル時間割 教科名見本シート
3分 	<p>○代表者の時間割を発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・代表者の時間割を見て、大まかな内容を発表したり、誰の時間かを予想したりすることで、次時の「読むこと」につなげる。 	
3分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入し、発表する。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらい・振り返りの視点を確認して記入させ、児童の活動を評価・称賛する。 ・挨拶をする。 	振り返りカード

第8時	<p>目標：他者に配慮しながら，将来の夢やオリジナル時間割を紹介し合おうとする。</p> <p>準備物：クイズシート，ワークシート，教師用カード（職業・教科），デジタル教材，児童用テキスト，オリジナル時間割，振り返りカード</p>
-----	---

時間	児童の活動 【 】 = We Can! に誌面化されている活動	指導者の活動と使用英語例 ◎評価<方法>	準備物
4分	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする。 ・めあてを確認する。 ・What subject? Quiz をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体に挨拶し，個別に数名の児童にも挨拶をする。 ・「聞く→読む→書く」クイズをする。 	クイズシート ワークシート
3分 	<p>[Let's Chant] What do you have on Monday? (p.22)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リズムに合わせてチャンツを言う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の実態により，スピードやオプションを選び，一緒にチャンツを行う。 	デジタル教材
8分 	<p>○Small Talk</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来の夢や時間割についてのやり取りを行う。 <p>① T 1 → T 2 ② T 1 → S 1, S 2… ③ S - S</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・情報を付け加えたり，質問したりして会話を継続させている児童を評価する。 ・困っている児童の表現の仕方を全体で考えさせる。 	教師用カード (職業・教科)
20分 	<p>[Activity 2] (p.24)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来の夢やオリジナル時間割を紹介し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>A: Hello. What do you want to be? B: I want to be a baseball player. A: Oh, you want to be a baseball player. Sounds nice. B: Thank you. Look at this schedule. I have ~, ~ and ~. Any questions? A: Why do you have P.E.? B: I want the power. A: I see. B: How about you? A: I want to be a teacher. …</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・前時に作成したオリジナル時間割シートを基にしながら，自分の将来の夢や時間割について伝え合う。 <p style="text-align: center; margin-top: 20px;">◎他者に配慮しながら，教科について尋ねたり答えたりして，伝え合っている。 <行動観察・振り返りカード点検></p>	教師用カード (職業・教科) オリジナル時間割
5分	<p>[STORY TIME] (p.25)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵本の読み聞かせを聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童とイラストや話の筋についてやり取りしながら読み聞かせる。 	デジタル教材 児童用テキスト
5分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動及び単元全体を振り返り，振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時及び単元のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。 	振り返りカード